

2012 年の火災発生件数が大幅減少、さらなる予防行政の充実を！

火災発生件数は年間 132 件で、昨年比マイナス 42 件

29 年間で低い方から 2 番目

熊本市消防局が今月公表した「火災統計」の速報値では、2012 年の火災発生件数は、前年に比べマイナス 42 件、24.1%の減少でした。1984 年からの 29 年間で、1989 年（129 件）に次ぎ、2 番目に少ない件数です。

内容別には、建物火災が前年比 26 件減少したことが、全体の発生件数減に貢献しています。

【火災種別発生件数（上位 3 種）】

種別	件数	前年数	増減
① 建物	89 件	115 件	−26
② 車両	16 件	23 件	−7
③ 林野	1 件	2 件	−1

京都市消防等、消防体制の拡充等の予防に力を入れている所では火災の発生数も少なく、本市においてもさらなる予防の拡充が求められます。

住宅用火災警報器の普及を

火災件数が大幅に減った要因としては、IH 機器の普及やオール電化などの生活様式の変化、ガス機器の安全対策の向上などに加え、住宅用火災警報器の普及もあげられています。

未設置住宅への普及啓発も必要です。



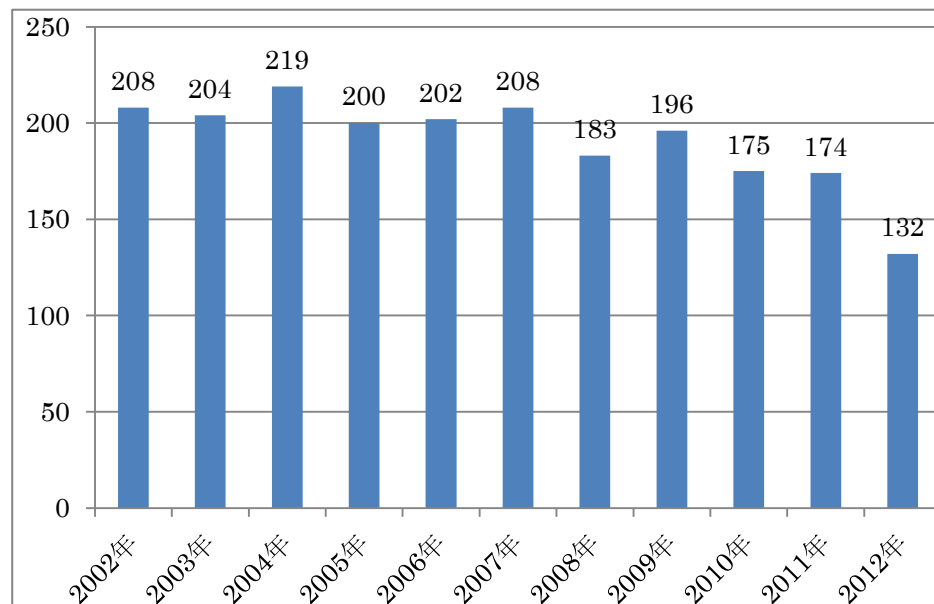
高齢化の時代に対応した啓発を

死者 5 人のうち 3 人、負傷者 29 人のうち 14 人が 65 歳以上の高齢者。

原因別では、たばこ・天ぷら油・ストーブなど、身近なところにあるものが上位の中に入り、3 分の 1 を占めています。



高齢化の時代に即した予防策、さらなる啓発が求められます。



（控室から）
四年ぶりのお雑煮 益田牧子
 今年の元旦、南熊本の生活相談所では、後援会の皆さんと一緒に、お屠蘇をいただき、雑煮を食べました。一人暮らしの A さんは、八王寺からタクシーで一番のりの参加でした。聞くと、連れ合いを亡くしてから、雑煮を作っておらず、四年ぶりの雑煮とのこと。作ってくれたのは、事務所の炊き出しを引き受けてくれている早瀬さんと、後援会長の藤本さん。三々五々に集まり、私の連れ合いや帰省した長男まで加わり、雑煮会は、お昼まで続けました。私の元気の素は、おいしいものを食べることに。おいしい雑煮を食べ、今年も良いスタートが切れました。
 一月二〇日の「新春のつどい」では、元料理人の巻寿司、オードブルなど手作りの料理を食べながら、交流を深めます。参加費は千円、午前十時から、春竹コミュニティセンターで開催します。一部は、「憲法九条と原発ゼロ」と題した寺内大介弁護士の講演。午後からは、ハワイアン演奏、民謡、手話ダンスなどもあり、「ためになり元気の出るつどいにしよう」と準備を進めています。どうぞ、ご参加ください。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町 1-1 議会棟 3 階

No. 833

2013 年 1 月 13 日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



12月市議会 報告

12月25日、12月議会が閉会しました。最終日の本会議では、補正予算や徳育に関する意見書への反対討論、産文会館の再開を求める請願について質疑を行いました。

12月市議会での主な議案や請願に対する賛否 ○賛成 ●反対

	共産党	自民党	市民連合	くまもと未来	公明党	自由ク	日本教育
2012 年度一般会計補正予算（※詳細は右の討論）	●	○	○	○	○	○	○
中小企業振興基本条例の制定	○	○	○	○	○	●	○
北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議	○	○	○	○	○	○	○
徳育の教科化を求める意見書（※詳細は右の討論）	●	○	●	○	●	○	○
消費税増税の実施中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
産業文化会館の再開を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
桜町再開発事業への熊本市の参加中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
年金の引き下げを中止し消費税によらず拡充を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
住宅リフォーム助成事業の創設を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
工場騒音に規制の措置を求める請願	○	●	○	●	●	●	○

中小企業振興基本条例が成立

熊本市の経済を支える中小零細企業。この間、超党派での研究会が開かれ、中小企業同友会などの意見も聞きながら、条例案がまとめられました。12月議会で条例を可決。地域経済の振興にむけ、具体的な中小零細企業への支援策が求められます。

北朝鮮のロケット発射への抗議意見書 全会一致で決議

昨年12月の北朝鮮によるロケット発射に対して、市議会では、厳しい抗議と国際社会の一致結束した対応を求めた意見書を全会一致で決議しました。

ランゲーン爆破事件(83年)、日本漁船銃撃事件(84年)、大韓航空機爆破事件(87年)——80年代に相次いだ北朝鮮の無法なテロ行為を、日本共産党はきびしく批判。83年から、朝鮮労働党との関係を断絶しています。

補正予算 ますだ牧子議員が討論

経済対策の拡充・豪雨水害へのさらなる支援を

補正予算についての討論では、① 経済対策の予算が不十分であり、遅れている市営住宅の修繕や改修を進め、住環境の整備とともに地元業者の仕事につながる対策の拡充を図ること。② 豪雨水害被災者に対する市独自の

支援の強化。③ ごみ収集業務については、ゴミ減量の啓発・指導や災害時での迅速な対応など直営での取り組みを評価し、安易な民間委託を見直すこと。④ 住宅リフォーム助成の創設などを求めました。

徳育の教科化を求める意見書

上野みえこ議員が討論

「道徳の教科化」ではなく、憲法に基づく基本的人権を中心に！

自民党市議団から提案された「徳育の教科化を求める意見書」について、上野みえこ議員が問題点を指摘し、反対討論を行いました。

討論では、かつて安倍内閣のもとで教育基本法の見直しが検討された際、現行の「道徳の時間」を「徳育」として「教科化」することにより、国が検定する教科書などで、特定の価値観を子どもに押し付けることが狙われ、憲法が保障する「思想・良心の自由」に真っ向から

反するものであったことを指摘。

市民道徳の教育は、憲法にもとづく基本的人権の尊重を中心に、自主的にすすめるべきであり、特定の価値観をおしつける「徳育の教科化」は行うべきではないと指摘しました。

また、いじめや非行を改善するためには、孤独やストレスを生みだしている過度な競争主義を改めることこそ必要であると述べました。